



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
 AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS
THE Y'S MEN'S CLUB OF GOTEMBA
 CHARTERED 1986.4.7

2024
 11
 No.459

第1例会: 毎月第2木曜日18:30~ 第2例会: 毎月第4木曜日18:30~ 会場: YMCA東山荘 TEL: 0550-83-1133/FAX: 0550-83-1138
 〒412-0024静岡県御殿場市東山1052(公財)日本YMCA同盟国際青少年センター東山荘 URL <http://www.ymcajapan.org/tozanso/>
 OFFICE: YMCA TOZANSO 1052 Higashiyama Gotemba Japan 412-0024 E-MAIL: tozanso@ymcajapan.org

会長: 杉山 博恵 副会長: 杉山 将己 書記: 小野麻利子 会計: 山本 光子 監事: 杉山 将己



国際会長主題” Together for a Better World” 「より良い世界のために、共に」
 アジア地域会長主題” Be the light for change” 「変革のための光となろう」
 東日本区理事主題 「ワイズの方向を見極める」
 富士山部部長主題 「たゆたえども沈まず」
 御殿場クラブ会長主題 「活発な奉仕活動によりワイズの理念を広めよう」
 御殿場クラブ活動方針

1. 東山荘と共に地域奉仕活動を行う。
2. 会員相互の親睦を図り、信頼関係の構築をなす。
3. 健全なる青少年の為に、YMCAと共に力を注ぐ。
4. DBCを始めとする他クラブとの交流を促進する。
5. EMC増強によるメンバーとクラブの強化を目指す。



2024年11月度例会プログラム

	司会	佐野恵美Y,s
1. 開会の言葉	司会	
2. 開会点鐘	杉山博恵会長	
3. ワイズソング	一同	
4. ワイズの信条	一同	
5. 聖句について	森田義彦Y,s	
6. 会長挨拶	杉山博恵会長	
7. ゲストビジター紹介	杉山博恵会長	
8. 食前感謝	前原末子Y,s	
9. 卓話	御殿場クラブ 秋田敬Y,s	
10. 誕生日・結婚祝い	各自	
11. スマイル・YMCA基金報告	山本光子Y,s	
12. 閉会の言葉	司会	
13. 閉会点鐘	杉山博恵会長	

《今月の聖句》
 ヨハネによる福音書 6章26節
 イエスは答えて言われた、
 「はっきり言うておく。あなたがたが
 私を捜しているのは、しるしを見たからではなく
 パンを食べて満腹したからだ」
 《聖書の意味》
 豊かな時代になったと言われるが、
 本当の豊かさとはいったい何か？
 物が無く、食材も不足していた前後の時代が
 人々の心が豊かだったと言われるのは何故だろう？



【BFだより】

- ・ビールやジュースを飲んだら
 プルタブを外しましょう！
- ・手紙が来たら切手を切り取りましょう！



11月お誕生日 おめでとうございます！

- 4日 佐野恵治 パートナー
- 10日 若林久美子Y,s
- 12日 杉山早苗 パートナー
- 30日 杉山将己Y,s



11月結婚記念日の方 おめでとうございます！

【10月例会報告】

在籍数	13名	メネット	0名	スマイル報告	7,000
出席者	8名	コメント	0名	スマイル累計	1,037,920
メーキング	名	ゲスト	1名	YMCA基金	830
出席率	62%	ビジター	0名	YMCA累計	235,841
修正出席率	%	出席者		BF活動切手	
		合計	9名		

10月例会報告

森田 義彦

10月10日(木) 18:30～ 東山荘6会議室にて例会

司会 杉山将己Y,s

◆開会点鐘 杉山博恵会長

◆ワイズソング・信条の唱和

◆聖句 森田Y,s(ルカによる福音書15章4節)

1匹の見失った羊に例え。ともすれば大勢の意見に流されて、本当の正しさを見失うことがないだろうか。

集団におけるいじめ問題もそうである。コミュニティの大切さとはどこにあるのかを現代では考える必要がある。

◆会長挨拶

本日10月10日は東京オリンピックの開催日。体育の日となった。当時は沼津に居住しており、新幹線・東名高速が開通し急激に変わっていく社会に時代の変換期を感じた。色々な人をお迎えして、肌の色の違いも見た。今日は国際交流会の上野様をお迎えしてお話をお聞きするが、皆さんも海外に飛び立てるようになりましょう。

◆食前感謝 山本Y,s

実りの秋、今年はイチジクと梨がなった。イチジクは美味しかったが梨は今一步であった。

秋は”収穫の秋”で楽しみである。今日も感謝していただきましょう。

◆食事:カレーのスープ、ミックスサラダ(茸のマリネ)、鮭のムニエル(海の幸ソース)、ワインゼリー

◆卓話 御殿場市国際交流会(GIA) 副会長(共生部会) 上野善正様

*自己紹介:富士宮市で1959年生まれ。裾野市の企業に39年間勤務。勤務で海外渡航した。(10か国に30回)英会話能力の維持を目的にGIAに参加。ふじ山教室があることを知り参加。10年ボランティアとしてかかわってきた。



【御殿場市の外国籍の方の状況】

2020年のデータでは39か国2,395人が在住。フィリピン(554人)、ブラジル(456人)、中国(409人)と続いている。コロナ禍以後減少している。

【ふじ山教室とは】

1998年ころからアルゼンチン出身の津嘉山リアナさんが、自宅で外国籍児童の補習教室を開始した。2013年には、御殿場市が御殿場小敷地内にふじ山教室の施設を建設した。コロナ禍以前は参加者15～20人、ボランティア4～6人。コロナ禍で参加者5～10人、ボランティア1～2人。コロナ禍後は参加者15～25人、ボランティア4～6人となり以前の状態になった。内容は遊びを通した日本語の習得、ひらがな・カタカナ、小学校低学年の漢字学習、国語以外の科目の学習、受験、日本文化に親しむ。日本で生活可能な能力の取得を目指す。

【ふじ山教室のボランティア】

・各自の都合で参加可 ・子どもが主体 ・規則を守れるように指導 ・話し合いで規則を決め、自分のやり方で活動する。
・2回目以降の参加は先輩と同等で。 ・居場所を提供されていることに感謝する。

【ふじ山教室の課題と解決】

・ボランティアの確保 ・個人(リアナさん)に頼る運営→リアナさんに頼らない料理教室を行った。
・同じルーツを持つ年の近い人の助言を活かす。目指すべき場所、方法、困った際の援助 ・グループでの課題解決→熱意ある人に頼りがち、親の啓発活動が必要(国同士の文化、習慣が異なり纏での発信ができない)

【課題解決で気が付いたことは】

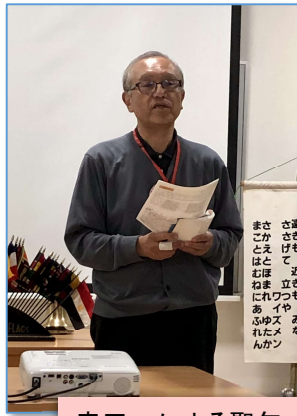
・不測の事態でメンバーが抜けたときはグループ LINEは障害が出る ・会話はできても読み書きができない人もいる
・ボランティアの自由度の確保 ・ポスターは何語で表現するか ・国による支援の差を持たない工夫
・個人の連絡先の公開はリスクが伴う

*今後もふじ山教室を継続します。一度、訪問してください。歓迎します。

◆杉山会長の「本日は上野様にお話し頂き、とても良い学びの場になった。今後も生かしていきたい」で閉会点鐘



司会の杉山Y,s



森田Y,sによる聖句



リフレッシュタイム



上野善正様と杉山会長

じゃがいもファン

10月11日、今年も十勝ワイズメンズクラブよりじゃがいも・玉ねぎ・かぼちゃ・3種詰め等が届きました。杉山将己Y,sの庭に運び込まれた大量の荷物は、鎌野泉様の巧みなフォークリフトさばきで、次々と仕分けされました。今年も皆様のご協力で、530箱もの注文をいただきました。ありがとうございました。



杉山Y,sの庭は野菜で一杯



みんなでお手伝い頑張りました！



富士山部 部大会

10月12日(土)御殿場時の栖で、富士山部部大会が開催されました。相磯優子富士山部長のもと、約80名の参加で、とても盛況裡の大会となりました。記念講演は日本YMCA同盟主任主事、有田征彦様の「YMCAの災害支援と能登半島地震・豪雨の現状」についてお話いただきました。とても楽しく、有意義な時間でした。



ワイズメンズクラブ国際協会東日本区
2024 - 2025 年度 富士山部 部大会



富士山部 部長挨拶



若林洋平Y,sの来賓挨拶



楽しい会食タイム



熱海グロリー40周年記念式典

杉山 博恵

10月20日、全国でも屈指である温泉場熱海の「熱海芸妓見番歌舞練場」で14時より、『熱海グロリー40周年記念式典』が、「やれる事は無限にある」のテーマの基に開催されました。第一部は上杉彰Y,sの司会により記念例会が執り行われました。続いての第二例会は、芸妓さん方のきれいな舞に目を奪われ、時が過ぎるのを忘れるほどでした。アトラクションの中で、一番皆を楽しませてくれたのが、熱海グロリーメンバーによる「ドジョウすくい」で有名な安来節でした。ドジョウの代わりに出席者の笑顔(スマイル)がたくさんたくさん入っていました。楽しい時間の過ぎるのは早いもので、開会点鐘より4時間があったと言う間に過ぎ、次期富士山部長、勝又隆吉Y,sの感謝の言葉で閉会となりました。熱海グロリーの皆様へ「おめでとうございます」と改めて述べさせていただきます。そして、お疲れ様でした。



楽しい時間はあっという間



素敵なお披露目

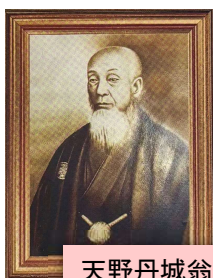


美人たちに囲まれて ✨

丹城翁百二十年祭 大花火大会

小野 麻利子

11月10日、私の地元である小山町大御神の富士スピードウェイにて、大花火大会が開催されました。当地が生んだ郷土の偉人「天野丹城翁」の功績を讃え、5年に一度大祭を開き、感謝の念を捧げています。天野丹城翁は文政5年(1822年)大御神に生まれました。宝永四年の富士山大噴火で埋没した当地を開田計画を立て、須走下原から実に36年の歳月を費やし、用水路を完成させました。また、明治9年 山野地官民区分施行時には、網山・角取山 約1千ヘクタールの民有権を確立し、数百ヘクタールの植林を推進し、新たな村々を立ち直らせたのです。さらに教育にも深い関心を寄せ、私学小学精義舎開校にも努力されました。明治38年10月、84歳で故人となられて120年。生前花火を好まれた事から、今年もおおよそ7,500発もの花火が打ち上げられ、それはそれは、圧巻でした。地元にもこのような立派な方がいらした事を誇りに思い、感謝と共に一言書かせていただきました。



天野丹城翁

